

留学生のための文章作成支援

ボランティアとしての日本語支援、とくに文章添削

あらまし

チューター向けに第1部では留学生のレポート等の誤用例および添削のための各種資料を示しました。第2部では各種資料の作成について、支援例を示しました。エントリーシート（ES）については「学生時代に一番力を入れたこと」の実例、授業料免除申請書と奨学金申請書については、要となる申請理由の実例を示しました。更に小論文については留意点を述べました。最近の動きとしてAI選考を紹介しました

目次

第1部 文章の添削	4.5 非用への対応-----	12
1. はじめに-----	4.6 視点の一貫性	
2. 日本語と中国語ならびにベトナム語との比較	4.7 論文添削へのコメント-----	13
3. 誤用の分類-----	5	
4. 誤用の実際	第2部 エントリーシート、授業料免除申請書、 奨学金申請書、小論文	
4.1 名詞	1. 一般的に留意してきたこと-----	14
4.2 動詞	2. エントリーシート	
4.3 助詞-----	3. 授業料免除、奨学金申請書-----	16
4.3.1 助詞「は」と「が」の使い分け	4. 小論文	
4.3.2 助詞「の」の誤用	5. 最近の動き	
4.3.3 助詞「に」「で」「を」の誤用		
4.4 文章のねじれ-----	12	
	あとがき	

第1部

文章の添削

1. はじめに

留学生の書いた文章には、チューターから見て不自然な部分があり、読みにくいのが普通です。N1 取得者の文章でも、何を言おうとしているのか判らないこともあります。チューターは自分の知識に照らして、あるいは留学生と話し合っただけで真意を問いただして、添削し、読みやすい文章に仕上げます。日本語の誤用には、誤字、文字の脱落、助詞および動詞活用の誤り、文章のねじれ等があります。これらの誤用は日本語学習者の日本語に関する知識不足によるものと思われませんが、学習者の母国語の影響(母語干渉)、既得の言語規則の過度な一般化にも関係すると言われていています⁽¹⁾⁽²⁾。

RKK で日本語支援を依頼する留学生は、そのほとんどが中国人留学生で、ベトナム、インドネシア留学生は少数派です。留学生に日本語を教えるためには、日本語教師が留学生の母国語を勉強するのが良く、それは中国語話者に対する礼儀のように思えると言われていています⁽³⁾。補助言語として留学生の母国語を使えば、コミュニケーションは間違いなく改善され、誤用を減らせると思います。余裕のあるチューターは中国語等を勉強して留学生と相対するのが理想的です。

本報告では留学生が書いた文章の添削の実際および誤用について述べ、添削中またはこれから添削を始めようとしている正会員のボランティア活動の参考に供したいと考えました。基本的なこととして、中国語とベトナム語を文法面で日本語と比較しました。さらに、日本語学習者の誤用を文献調査により調べ、その分類法の一例を示しました。この分類を用いて、著者が添削した留学生の文章について誤用頻度を調べ、誤用の多くは動詞と助詞にあることを示しました。最後に文章添削で留意すべき点、参考データを文献調査によって取りまとめました。

2. 日本語と中国語ならびにベトナム語との比較

表1 a は日本語と中国語ならびにベトナム語との基本的な違いを示したものです。日本語は日本語族に属し、他の言語と系統関係のない孤立した言語とされています。日本語は膠着語^{こうちやくご}であり、名詞の格は助詞によって、時制等は動詞の語尾変化によって決まります。その語順が SOV のため、アルタイ諸語に加えられることがあります。中国語とベトナム語は互いに異なる言語圏に属していますが、日本語と異なり、共に語順が SVO で、孤立語です。孤立語には助詞および動詞の活用が無く、名詞の格は語順で決まります。膠着語は両国の留学生にとって馴染みがないためか、彼らの文章には助詞・動詞に関係した誤用が目立ちます。

表1 b はやや詳しく主に文法的な事項について、日本語と中国語ならびにベトナム語とを比較したものです⁽⁴⁾⁽⁷⁾。これらの国はいずれも漢字文化圏に属しているにもかかわらず、文字、発音および文法に大きな違いがあります。日本語では助詞が多様で文章作成上大きな役割を果たしています。また、動詞の活用と表現・意図が多様で、表1 b には無い表現： 勧誘・推量・やりもらい表現・ある／いる などもあります。表2は誤用

1 庵 功雄 一歩進んだ日本語文法の教え方1 (株)くろしお出版, (2017)

2 市川保子 日本語教育通信 日本語・日本語教育を研究する【第16回】日本語の誤用研究 2001年5月、国際交流基金、HP <https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/reserch/backnumber.html>

3 藤田昌志 日本語と中国語の誤用例研究—先行研究の考察と展望— 三重大学国際交流センター紀要 8 (2013), 63-74

4 <http://www.techxel.jp/general/主要言語の文字数と音節数>

東京外国語大学言語モジュール (中国語) <http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/>

東京外国語大学言語モジュール (ベトナム語) <http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/vi/>

の多い受動文について、日本、中国⁽⁵⁾⁽⁶⁾、ベトナム⁽⁷⁾⁽⁸⁾の文法等を比較したものです。日本語の直接受身（もの）と迷惑受身は中国語に直接に対応しないので、能動文への置き換え、意識が行われています。その他、名詞では同型異義語（同じ漢字から成る単語で日中で意味が異なるもの）が誤用の原因になっています。表1で黄色マーカーは違いの大きな項目です。

表1a 日本語と中国語、ベトナム語との基本的な違い

言語の特徴	日本語	中国語	ベトナム語
語族	日本語族（孤立した言語） （アルタイ諸語）	シナ・チベット語族	オーストロアジア語族
語順	SOV	SVO	SVO
類型	膠着語 名詞または動詞の語幹に、各々助詞または動詞の活用部分等を付着させて、文の中での役割を変えられる言語（注） 私が 音楽を 聞く。（私が→主語） 私が 音楽を 聞いた。（聞 <u>いた</u> →過去）	孤立語 語形変化がなく語順で意味を表す言語 wǒtīngyīnyuè 我听音乐 wǒtīngle yīnyuè 我听了音乐	孤立語 tôi nghe nhạc tôi đã nghe nhạc
付属語	後置詞 （助詞が相当） で、に、を、は 等	前置詞（介詞） 在：～で 对：に（対して）等	前置詞 ở：～で、～に（いる） cho：に（対して）等

(a) 言語学大辞典 第6巻 三省堂 493p (1996)

(b) 新・はじめての日本語教育1 アスク(2004)

- ・中国語は百度翻译で翻訳
- ・ベトナム語は Google 翻訳

(注) 文献(a)では動詞のみが膠着語を形成すると述べています。

(c) <https://ja.wikipedia.org/wiki/語族の一覧>

(d) <https://ja.wikipedia.org/wiki/膠着語>

(e) <https://ja.wikipedia.org/wiki/語順>

表1b 日本語と中国語、ベトナム語との比較

項目	日本語	中国語	ベトナム語（注）
文字数	1) ひらがな：濁音、半濁音、撥音：「ん」、促音：「っ」、拗音：「ゃ」「ゅ」「ょ」等を含め 77 文字 2) カタカナ：82 文字、アラビア数字：1 3) 常用漢字 2136 文字 総計：2300 文字 簡体字 無し	1) 漢字 常用字 2500 次常用字 1000 2) 合計 3500 字 3) アラビア数字 10 総計 3510 文字 簡体字 2235 文字	アルファベット A,Ă,Â,B,C 等 29 文字 声調記号のついたものを含めて 全部で 89 文字
発音	高低アクセント	4 声調、有気音／無気音	6 声調、有気音／無気音
語順	主語＋目的＋動詞 (私はリンゴを食べる)	主語＋動詞＋目的 (我吃苹果)、苹果：リンゴ	主語＋動詞＋目的 (Tôi ăn táo) =(I eat apple)
否定の位置	主語＋目的＋動詞＋否定 (私はリンゴを食べない)	主語＋否定＋動詞＋目的 (我不吃苹果)	主語＋否定＋動詞＋目的 (Tôi không ăn táo) =(I do not eat apple)

⁵ 張 蘇 中国人学習者の日本語受動文の習得研究（東北大学学位論文、2014）<http://hdl.handle.net/10097/59654>

⁶ 沖森拓也、蘇 紅 日本語ライブラリー 中国語と日本語 朝倉書店 (2014)

⁷ 東京外国語大学言語モジュール（ベトナム語）<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/vi/gmod/contents/explanation/038.html>

表 1 b の続き

項目	日本語	中国語	ベトナム語
名詞	複数形なし 男/女性形なし	複数形なし 男/女性形なし	複数形なし 男/女性形なし
	複数表現：我々、彼ら	我们（私達、们は人のみに使う）	các + 名詞（人のみに使う） những + 名詞（=noun+s）
動詞	活用あり（1形、2形、3形）、 時制あり、人称変化なし 自動詞、他動詞	活用、時制無し 時制：動詞+アスペクト助詞 「了」、「过」 未来：+「時間を表す単語」 （不及物動詞、及物動詞）	活用、時制無し 過去：đã + 動詞/動詞 +...rồi. 未来：sẽ+動詞/sắp+動詞
動詞 （受身）	AがBに+受身形（される）	A+「被」+B+動詞 AがBに～される	A+được+B+動詞(利益を受けた場合) A+ bị +B+動詞(被害を受けた場合)
動詞 （使役）	AがBに+使役形（させる）	A+「让」+B+動詞 AがBに～させる	A+cho/bắt+B+動詞 AがBに～させる
助動詞	です（コンピュータ）	例：会、不会	例：phải(must), nên(should)
形容詞	イ形・ナ形（形容動詞の連体形） 活用有り 複数形なし 男/ 女性形なし	名詞+的 活用、複数形なし、 男/女性形なし	活用、複数形なし、 男/女性形なし
副詞	例（はっきり）、形容動詞の連 用形+に	例（常常）、名詞+地	例（mãi、ずっと）
助詞	が、て、に、を、は 等多数有り	語気助詞、動能助詞	文末詞（終助詞に相当）
前置詞	なし	在、离、对 等多数有り	あり
敬語	尊敬語、謙讓語、丁寧語	尊敬語（您）、謙讓語（拜）、請	丁寧語
外来語の 表し方	カタカナ（カタカナ小文字ァイ ウエオ含む。例：コココーラ）	漢字 例：可口可乐(Coca cola)	アルファベットで表示 例：Coca-Cola
オノマトペ	擬音語：わんわん、 擬態語：わくわく	わんわん：汪汪（ワンワン） わくわく：？	gâu gâu（ガウガウ） hào húng（ハオフン）
古語的表現 難読地名等	有り（かはずとびこむ、主とおぼしき 人 ^{おしやまんべ} ／長万部 ^{したなが} 二 など）	ともに非常に多い。	なし
言葉の文 化	婉曲、解釈に幅 視点の一貫性重視	伝えたいことを明示（主語明示） 視点の一貫性は重視されない	伝えたいことを明示（主語明示） 視点の中立性、移動性が高い

(注) ベトナム語（アンダーライン部を含む）の意味をその真下に英語で示した。

表2 日本語と中国語およびベトナム語の受身の比較

日本語	中国語	ベトナム語 (注)
直接受身 (ひと) Aが+Bに+他動詞+れる ・私が彼に助けられる (能動態: 彼が私を助ける)	A+被+B+他動詞+補語 ・我被他帮 (能動態: 他帮我) 私は彼に助けられる	A+ được + B+ 動詞 (利益) Tôi <u>được</u> anh ấy <u>giúp đỡ</u> . I (by) him am helped 私は彼に助けられる A+ bị +B+ 動詞 (被害) Nhật ký của tôi <u>bị bạn đọc</u> . My diary is (by) you read 私の日記を君に読まれる。
直接受身 (もの) Xが+ (Bによって) +他動詞+れる ・問題が解決された ・橋が壊された。	能動態で表す。 ・問題解決了 ・桥坏了	受身で表す。X+được/bị+動詞 Vấn đề <u>đã được giải quyết</u> . Problem was solved Cây cầu <u>đã bị gãy</u> . The bridge was broken
間接受身 (持ち主受身) AはBにXを+他動詞+れる ・私は彼に足を踏まれる (彼が私の足を踏む)	受身 (被) を使う ・我被人踩下脚	受身: Tôi <u>bị</u> anh ấy <u>dẫm</u> vào chân. I (by)him am stepped on foot 能動: Anh ấy <u>dẫm</u> vào chân của tôi. He steps on foot of me
間接受身 (迷惑の受身) Aが+Bに自動詞+れる ・(私が) 雨に降られた ・(私が) 子供に泣かれた。 能動文なし	直訳できず意識する 受身 (被) を使うケース ・我淋了雨 (我被雨淋了) 意識のケース ・孩子哭了、我很烦	受身 Tôi <u>đã bị mắc</u> mưa. I was caught rain 私は雨に降られた。

A: 受け手、B: 行い手、X: 事物 (非情) (注) ベトナム語 (アンダーライン部を含む) の意味をその真下に英語で示した。

3. 誤用の分類

表3と表4に日本語学習者の誤用例を示しました。誤用の分類については各種の試みがなされてきましたが、ここでは書物にも使われている分類法でまとめてみました。これらの表は文献⁽²⁾⁽⁹⁾を参考にして作成したもので、具体例には留学生の誤用も含まれています。以下は誤用内容の説明です。

- ・混同は、助詞「は」「が」、自動詞・他動詞などで、他の単語と取違い、単語選択の混乱による誤り、
- ・誤形成は、活用、接続の仕方などの形態的な誤り {例: 会ってください (誤) → 会ってください (正)}、
- ・脱落は、当該項目を使用しなければいけないのに使用していない誤用 {例: 机の上に参考書__2冊置いてある (「が」が脱落)}、
- ・付加は、脱落とは逆に、使用してはいけないところに使用している誤用 {例: 学生は8人がいて、全員留学生である (「が」は不要)}、
- ・位置は、その項目の文中での位置がおかしい誤り {例: 注意するなど必要はない (誤) → 注意などする必要はない。 (正)}
- ・ねじれた文章とは、主語と動詞が対応していない文章です。{私の夢は旅行します→私の夢は旅行することです。}

なお、この表3の誤用内容→連語にあるコロケーション (共起) とは語の慣用的なつながりを意味し、「名詞」+「動詞」の例として「傘をさす」が有名です。また、表3の中段にある誤形成→活用→動詞の欄でアスペクトとは、時間の流れに注目した表現で、「食べています、食べたばかりです」などが相当します。

表4はよく使われる助詞相当句などをまとめたもので、「にとって」、「に対して」、「について」の誤用には母語の影響があると言われています。判り易くするために英語の前置詞との対応を示しました。

9 市川保子 日本語誤用辞典—外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント、(株)スリーエーネットワーク (2010)

表3 誤用の分類

誤用内容	誤用対象	誤用例	訂正例
混同	語彙選択	名詞	2つの部分に取り組んでいる。 2つの 課題 に取り組んでいる。
		動詞	必要であると取り上げられている。 必要であると 判断され、実施されている 。
		接続詞	これは容易である。但しこれは落とし穴でもある。 これは容易である。 しかし 、これは落とし穴でもある
	連語 (コロケーション)	動詞	知識を勉強する。 知識を学ぶ。 日本語を了解する。 日本語を理解する。
	自動詞 / 他動詞	動詞	熱はすぐに下げます。 この機械は壊しています。 母は私を育ちました。／育って頂きたいです。 熱はすぐに 下がります 。 この機械は 壊れて います 母は私を 育て ました。／ 育て て頂きたいです。
	助詞	助詞	横浜に住んでいます。 東京に会いましょう。 車が電信柱をぶつかった。 彼は子供に手を洗ってあげた。 私は先生を会いました。 彼が学生である。(文脈によっては正) 日本語は助詞は難しい。 子供は扉を閉めたとき、雷が落ちた。 子供が扉を閉めると、先生が話しを始めた。 横浜 に 住んでいます。 東京 で 会いましょう。 車が電信柱 に ぶつかった。 彼は子供 の 手を洗ってあげた。 私は先生 と 会いました。 彼 は 学生である。 日本語は助詞 が 難しい。 子供 が 扉を閉めたとき、雷が落ちた。 子供が扉を閉めると、先生 は 授業を始めた。
助詞相当句		言い回しによる表すのである。 言い回しに よって 表すのである。	
誤形成	活用	動詞 (時制・アスペクト)	アドバイスを頂きませんか 昨日読む本は面白かった。 卒業時には進路を決めるでしょう。 アドバイスを 頂 きませんか 昨日 読んだ 本は面白かった。 卒業時には進路を 決めている でしょう。
		動詞(使役)	彼に行きます。／彼に守ります。 相手に作りさせます。 読んでもらっていました。 彼に 行 かせます。／彼に 守 らせます。 相手に 作 らせます。 読 ませてもらいました。
		動詞(受身)	このアイディアは皆に支持した。 答えを見させたくない。 このアイディアは皆に 支 持された。 答えを 見 られたくない。
		形容詞	面白いではありません。 難しいでした。 重要な結論 面白 くはありません。 難 し かったです。(欄外注) 重要 な結論
脱落	助詞	用紙__二枚おいてある 国語__先生 必要がない__ではないか。 発展__も役立つ。 美しい__で驚いた。 用紙 が 二枚おいてある 国語 の 先生 必要がない の ではないか。 発展 に も役立つ。 美しい の で驚いた。	
	その他	あった__とも無い。 あった こ とも無い。	
付加		兄弟が8人 が いる。 狭い の 道走る。 学びたい の 理由は・・・。 難しい な 点はクレーム処理だ。 兄弟が8人いる。 狭い道走る。 学びたい理由は・・・。 難しい点はクレーム処理だ。	
位置		一緒に試薬粉末と水を混合する。 試薬粉末と水を一緒に混合する。	
文章のねじれ		・私の夢はCEOです。 ・本テーマを選択した理由は、新聞で地球温暖化のことをよく耳にする。 ・私の夢はCEOになることです。 ・本テーマを選択したのは、新聞で地球温暖化のことをよく目にしたからである。	

注:「難しかったです」は過去形の重複表現になるので不可

表4 誤用例(混同) 助詞相当句等⁽¹⁾⁽¹⁰⁾⁽¹¹⁾

誤用されやすい字句	誤用例	訂正例
にとって	家庭環境は子供に対して重要だ。	家庭環境は子供 にとって 重要だ。(for)
について	先生は生物環境の重要性に対して述べた。	先生は生物環境の重要性 について 述べた。(about)
に対して	先生は誰についても寛大だった。	先生は誰 に対しても 寛大だった。(to)
によって	M&Aをした後はすべて成功したとは言えない。	M&A によって すべて成功したとは言えない。
までに	明日まで仕事を終える。	明日 までに 仕事を終える。(by)
まで	深夜までに勉強した。	深夜 まで 勉強した。(until)
まで	加熱したら容器さえ溶けてしまった。	加熱したら容器 まで 溶けてしまった。
まで	彼さえ怒り出した	彼 まで 怒り出した。

4. 誤用の実際

著者が支援した留学生による日本語文章（研究計画書、研究報告書、論文等）の誤用の状況を図1、2に示しました。次頁に示すように、誤用内容別（図1）を見ると混同と誤形成が多く、品詞別（図2）では助詞と動詞の誤用が多くなっています。これらの傾向はなたねコーパス⁽¹²⁾の結果に一致します。すなわち、中国語とベトナム語には無い日本語の助詞、および動詞の活用に関係した誤りが多く、これは当然の結果と言えます。なお、今回の調査では中国語話者5名とベトナム語話者1名の文章（ファイル数78）を調査対象としましたが、誤用傾向の違いは認められませんでした。なたねコーパスでも同様な傾向が認められています。

4. 1からは、主に文献から引用した実例を示しました。

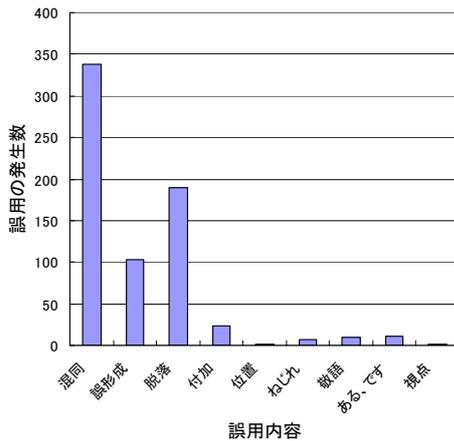


図1 誤用の内容別に見た誤用発生数

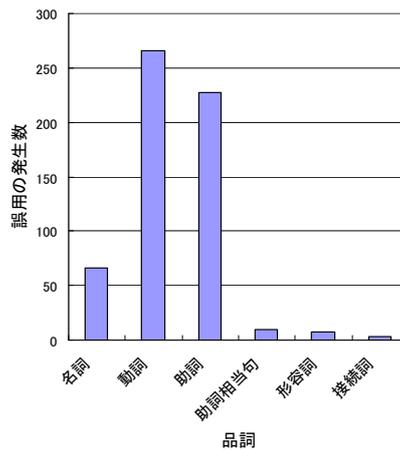


図2 品詞別に見た誤用の発生数

¹⁰ 水谷信子 事例で学ぶ誤用分析の方法 アルク 65-69p (1994)

¹¹ 張麟声 日本語教育のための誤用分析 (中国語話者の母語干渉20例) (株)スリーエーネットワーク 194-203p (2001)

¹² 学習者作文コーパス「なたね」誤用検索 https://hinoki-project.org/natane/misuse_search

4.1 名詞

書き間違いは別にして、文脈に不適当な名詞、熟語を見受けます。例えば

ストレスの**解散**（誤）→ ストレスの**開放**（正）

・・・という**声**を持っている人（誤）→ ・・・という**意見**を持っている人（正）

また、中国人留学生の場合、日常使っている漢字が日本でも使われていると誤解します。⁽¹³⁾ 例えば

自分の過ちを深く**検討**すべきだ。（誤）→ 自分の過ちを深く**反省**すべきだ。（正）

更に、中国人留学生の文章では漢字同型異義語に注意する必要があります。すなわち、中国語の単語（主に漢字二字）は日本語と同型ですが意味が全く異なる場合、意味が一部重なる場合があります⁽¹⁴⁾。

例えば、前者では「飯店」後者では「出口」があります。「飯店」はホテルですが、「出口」は出口と輸出の意味があります。また、

農村部と都市部で別の**経済結構**を形成した（誤）

農村部と都市部で互いに異なる**経済構造**をとった（正）

のように誤用のはっきりしている場合は別として、「質量」のように品質と質量の2つの意味がある場合には、どちらの意味で「質量」を使ったのか確認したほうが安全です。表5に同形異義語⁽¹⁴⁾の一部を示しました。

表5 中国語話者による名詞の誤用例（混同）

中国語話者による表現	日本語	中国語話者による表現	日本語
一定	必ず	机	機械
顔色	色	工作	仕事
外人	外部者	質量	品質／質量
暗算	密かに企む	算数	算数／承認
経理	経営者	作業	宿題
高校	大学レベルの学校	手机	携帯電話
結構	構造	出口	出口／輸出
汽車	自動車	美国	米国
單車	自転車		

4.2 動詞

時制の誤り、アスペクト、受身の誤りが多発しています。これらは読んでいる途中で引っ掛かってしまいますので、訂正は容易です。

受身の誤用は母国語の影響を受けることが知られています。中国人日本語学習者に関しては、受身の誤用を避けるため下記の日本語指導が示唆されています。⁽⁵⁾

- ① 中国語には「第一人称動作主」「被我」と「非情物動作主」「被(+無情名詞)」がある。日本語にはこのような受動文の使い方がないため、中国人学習者はこのようなところに中国語からの干渉を受けやすい。

例：ご飯は私に食べられた。

- ② 受動文は主語が非情物で、しかも動作主が明確でない場合、日本語では「直接受動：もの」の受動文で表現される傾向が強いが、中国語では能動文で表現されることが多い。

例：この工場はテレビを作っている。テレビはこの工場で作られている（日本での一般的表現）

ベトナム人日本語学習者向けの指導ポイントは以下のようなようです。⁽¹⁵⁾

¹³ 王国華 中国人日本語学習者が間違いやすい表現について 北陸大学紀要 第27号(2003)、115

¹⁴ 王 承云 同形異義語における中国語と日本語の対照研究 人文科教育研究 25(1998)、143-152

¹⁵ ゲン・タン・ヴァン ベトナム人日本語学習者の受動文の誤用分析 日本言語文化研究会論集 1(2005)、177-199

① 日本語の受動文「～てもらう」表現の区別指導すること。

すなわち được を使った受身は恩恵、利益を表しますから、(1)のようにモノの直接受身の場合を除いて(2)(3)のように人が主語の場合には、受身文でなく褒め言葉、または「もらった」、「頂いた」を使うようにします。なお、ベトナム語(アンダーライン部を含む)の意味は、その真下に英語で示しました。

(1) Vấn đề đã được giải quyết.

Problem was solved 問題が解かれた。(正)

(2) Tôi đã được thầy giáo khen.

I teacher was praised 私は先生に褒めて頂いた。(正)

(3) Tôi đã được bố mua táo

I father was bought apple 私は父にリンゴを買われた。(誤)→父にリンゴを買ってもらった(正)

② 日本語間接受身の持ち主受身の「持ち主」と「持ち物」の文法的役割を指導すること

ベトナム語では主語が「持ち物」ですが、日本語では主語を「持ち主」にします。

Xe máy tôi đã bị anh trai làm hỏng.

My motorbike brother was broken

私のバイクは兄によって壊された(誤)→私は兄にバイクを壊された。(正)

③ 限定的ですが bị 構文は動詞だけでなく、名詞からも作れます。しかし、下記の受動文は日本語の受動文に対応しません。下記の誤用は、受動文をそのまま日本語の受動文に転用できると思い込んで、生じたものと考えられています。

Tôi đã bị cảm.

I caught cold 私は風邪をひかれた(誤)→私は風邪をひいた(正)

意外に多いのは名詞(主語)に対して慣用的な動詞が使われていないケースです。文法の誤りではないのですが、読んでいて違和感を覚えます。コロケーションを無視して、例えば「役割をする」と表現した例がありました。表6にコロケーションの例を示します。詳しくは慣用句・連語リスト1000

(<http://www7a.biglobe.ne.jp/nifongo/data/idiomlist.pdf>) をご覧下さい。適当な動詞を見付けるためには、Google 検索(例えば、“役割を”と引用符を付して検索する)、またはコーパス¹⁶⁾で検索する方法が役立ちます。

表6 典型的なコロケーション

名詞+「を」+動詞			
影響を与える	連絡をとる(取る)	夢を見る	効率を上げる
影響を及ぼす	声をあげる	生活を送る	責任を果たす
影響を受ける	味をしめる	メガネを掛ける	役割を果たす
措置を講じる	足を運ぶ	許可を得る	責任を負う
充実を図る	耳を傾ける	活動を行う	迷惑をかける
利用を図る	風邪を引く	興味を持つ	結論を出す
バランスをとる	薬を飲む	意味を持つ	文句を言う
メモを取る	注射を打つ	責任を持つ	命令を下す
計画を立てる	体調を崩す	関心を持つ	成果を上げる
傘をさす	様子を見る	地位を占める	

¹⁶⁾ コーパス開発センターHP 『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ) 少納言 https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/ (登録せずに使えます)

名詞＋「に」＋動詞、		名詞＋「が」＋動詞	
話に乗る	手に入れる	手に入る	結論に達する
癪に障る	軌道に乗る	調子に乗る	明るみに出る
見通しが立つ	目処が立つ	鳥肌が立つ	腹が立つ
泡が立つ	角が立つ	足が出る	食が進む

4.3 助詞

4.3.1 助詞「は」と「が」の使い分け⁽¹⁷⁾⁽¹⁸⁾⁽¹⁹⁾⁽²⁰⁾⁽²¹⁾

- 1 初出の情報を示すときは「が」を、既出の情報を示すときは「は」を使うという説があります。
「昔あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へ芝刈りに・・・」という例が示されています。

論文では題目が示されており、これは初出の情報と考えられるので、文頭であっても「本論文は・・・を目的とする」と言えるのかも知れません。教科書では「は」は主題（トピックス）または対照を提示し、「が」は動作・状態の主体を表す主語を提示すると言われています⁽¹⁸⁾。

- 2 XはYである構文

例：象は鼻が長い。
日本は台風が多い。

- 3 従属節と主節からなる文章の場合

- ・従属節には「が」、主節には「は」を使います。（従属節と主節の主体が異なる場合）

例：私がここに着いたとき、彼は食事中だった。
彼が話したことは、本当だった。
先輩が行けないので、私は1人で出掛けた。
その理由は、企業が戦略を誤ったことにある。
それは、売上げが伸びたからです。

- ・従属節と主節の主体が同じのときは「は」を使います。

例：雨は小降りになったが、（雨は）まだ降っている。
私は病気だったので、（私は）食事をとれず、会社を休んだ。（「は」は主題を表しますから、主文の文末まで意味上の影響を及ぼします。「が」は最寄りの述部だけに係り、主文まで影響が及びません。）

- ・対比を表す場合には、最初の「は」は主題、それ以外の「は」は対象を示します。

例：田中さんは来ますが、山田さんは来ません。
例：先輩は仕事をするので、私は1人で出掛けた。

4.3.2 助詞「の」の誤用

中国語話者は、体言（名詞）を修飾するとき、名詞の前に「の」をつける傾向があります。

例 美しいの花（誤）→美しい花（正）

¹⁷ 庵功雄 一步進んだ日本語文法の教え方 2 (株)くろしお出版、76-97p (2018)

¹⁸ 高見澤孟 監修 新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識 アスク 102-110p (2004)

¹⁹ 鈴木忍 文法上の誤用例から何を学ぶか 一格助詞を中心にしてー 日本語教育 34号 (1978) ,1

²⁰ 水谷信子 事例で学ぶ誤用分析の方法 (株)アルク 156p (1994)

²¹ 松岡弘 監修 初級を教える人のための日本語文法ハンドブック スリーエーネットワーク 257p (2000)

私がほしいの物はカメラです。(誤) → 私が欲しい物はカメラです (正)
 これは便利の品物です。(誤) → これは便利な品物です (正)
 旅行に行かないの人はいません。(誤) → 旅行に行かない人はいません (正)
 中国語では修飾語が名詞の前にくると、修飾語に、その標識として「的」をつけます。この誤用は母語の干渉によるものと言われています。(19)

4.3.3 助詞「に」「で」「を」の誤用(22)

日本語では助詞を使って人、物と動詞との関係を表しますが、中国語では語順および前置詞を使って表します(6)。しかし、日本語で助詞を使う場合でも中国語では前置詞を省く場合があり、前置詞の使われ方も助詞のように複雑です。そのためか、「福井で泊まる」、また、「先生を会いに行きます」等の誤用が見られます。

図3は助詞「に」「で」「を」のタイムラインの各時点における使い分けを示したものです。江副(23)は、助詞を「接着剤」に例え、動詞を覚える際に必ずセットにして覚えることを提案し、中でも「場所」を表す「に」「で」「を」について図3のように図式化し、一連の動作としての習得を提唱しています。

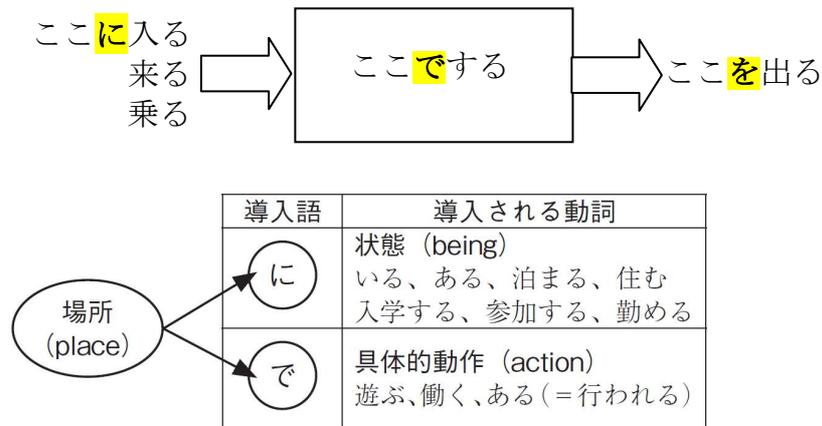


図3 助詞「に」「で」「を」の使い分け、および場所を表す「に」と「で」に使われる動詞(23)

また、自動詞と他動詞の混同による助詞の誤りが報告されています。その一部を表7に示しました。

表7 他動詞／自動詞の混同による助詞の誤用(24)(25)

助詞	正/誤	例文	誤用の理由
を → に	誤 正	車が電柱をぶつかりました。 車が電柱にぶつかりました。	「ぶつかる」は中国では他動詞的に使われるので「を」を誤用。
を → に	誤 正	私は山田さんを会いました。 私は山田さんに会いました。	「会う」は英語では他動詞なので「を」を誤用
を → に	誤 正	危機を直面して。 危機に直面して。	自動詞を他動詞のように扱った例。
を → が	誤 正	私は猫を怖い。 私は猫が怖い。	「怖い」は中国語では他動詞的に使われる。日本語では「～は～が感情形容詞」の構文を使う
を → が	誤 正	ポイントを見つかる。 ポイントが見つかる。	「見つける」は他動詞のため「ポイントを見付ける」と言えるが、「見つかる」は自動詞。
を → が	誤 正	意味を判る。 意味が判る	「判る」は自動詞
で/に →を	誤 正	道 で/に 歩いています。 道を歩いています。	自動詞で「を」を使うケース 他に、バスを降りる、橋を渡る、現場を離れる等。

22 島田かおり 日本語学習者の誤用分析 —中国語母語話者の事例研究— 山口国文 34(2011), 106

23 江副隆秀 外国人に教える日本語文法入門 創拓社 109p (1987)

24 張麟声 日本語教育のための誤用分析 (中国語話者の母語干渉20例) (株)スリーエーネットワーク 52-59p (2001)

25 水谷信子 実例で学ぶ誤用分析の方法 (株)アルク 12p (1994)

4.4 文章のねじれ

文章のねじれは、主語と述語がかみ合っていないために生じます。文章を読んでいくと、いつの間にか主語が変わり、述語が主語に対応しないので、文章の意味をとれません。

例えば下記のような文章に出合って困ることがあります。

「従来の文献は、プラットフォームと補完製品をまとめて「エコシステム」と定義され、場合によってユーザーもふくめることがある。」

この種の文章を添削すると意味を取り違えることがあるので、留学生に何を言いたいのかを確認してから添削した方が安全です。

文章のねじれは、文章が長いと生じやすいので、主語と述語が離れている場合には要注意です。この種の誤りは、読み返せば防げるはずですが、文頭の主語が文末の動詞に対応しているか、例えば「この事実は……を示している」のように主語が述語に対応していることをチェックしてもらうことが大切です。ねじれのある文章は絶対に避けなければなりません。

4.5 非用への対応

非用とは知っていても使わないことです。日本語学習者は、自信の持てない形は誤用の危険をおかしてまでつかう気になれず、今までに習熟した安全な表現法、初級の表現で済ませようとしています。その結果、誤用例は表面に出ません⁽²⁶⁾。例えば

「友達が私を手伝いました。(非用) →友達が私を手伝ってくれました。」(正)

また、下記の文章ではテ形、使役の非用があると見なされます。これは、N2 クラスではいずれも学習済みだからです。

「国内市場でも競争は激しくなる。」→「国内市場でも競争は激しくなっている。」(正)

「M&A が成功するため」→「M&A を成功させるため」(正)

誤用の陰には多くの場合、非用があるとされています。使うべき形式を回避して、間に合わせの形式で代用していることに気づいてもらうことが不可欠です。学習者に非用を意識させる必要があります⁽²⁷⁾。

留学生の文章が文法的には誤っていなくても、違和感のないものに仕上げる必要があります。その際に添削の理由を留学生に説明し非用を指摘すると、日本語のレベルを高めてもらえると思います。

4.6 視点の一貫性

日中表現の違いに、視点の違いがあるとされています。すなわち、日本語では主語を一人称にする傾向がありますが、中国語では一人称でも三人称でも差し支えなく、従って、「上司が私に無理やりに酒を飲ませた。」は中国では問題ありません。しかし、日本語では一人称に視点が制約されるので「(私は) 上司に無理やりに酒を飲まされた」の方が日本語らしい表現になると指摘されています⁽²⁸⁾。この視点制約に従えば、重文で従属節と主節の主体が異なる文章はできるだけ避けた方が良いでしょう。

²⁶ 水谷信子 事例で学ぶ誤用分析の方法 (株)アルク 14p (1994)

²⁷ 白川博之 学習者の誤用・非用をどう考えるか 広島大学大学院教育学研究科紀要 第2部 第56号 (2007)、173

²⁸ 楊 凱榮 誤用例にみる日中表現の違い 日本語学 Nov., vol.32-13 (2013)、54

文頭の主語に「は」をつけた場合、文頭の主語は文末まで影響を及ぼします。その結果、文章が読みやすく仕上がります。例えば、エントリーシートの場合、下記のように動詞を工夫し、受身を利用して、一貫して一人称で記述します。

「私は何度も売り場の陳列方法を変えて、売上げを増やし、会社から表彰されました。諦めずに努力することの大切さを実感し、仕事への自信を深めました。この経験を今後のビジネス活動に活かしていきたいと思っています。」

論文ではパラグラフの中で主語を変えた時には、文章の読みづらさ、ねじれに留意する必要があると思われる。

4.7 論文添削へのコメント

論文では従来の研究をレビューして、どこに問題があるのかを明らかにします。そこで「と考えられる」および「と考えられている」の使い分けが重要になります²⁹⁾。タイムラインで考えると、先ず文献で示されてきた知見について述べるため、従来の研究では「・・・と考えられている／てきた」と述べます。次に、著者が従来の研究結果を考察して、新しい知見を得たり、矛盾点を明らかにします。そして著者の新しい考えを「・・・と考えられる」と提示します。

すなわち、「考えられている」は従来のこと、そして「と考えられる」は著者の新しい提案を対象にしています。論文では著者の寄与を明確にする必要があります。

論文、レポートのようにフォーマルな文章では、それにふさわしい言葉を選んで使わなければなりません。詳しくは RKK ホームページ掲載の「日本語支援のあゆみ」をご覧ください。

²⁹⁾ 庵功雄 一歩進んだ日本語文法の教え方 1 (株)くろしお出版 54p (2018)

第2部

エントリーシート、授業料免除申請書、奨学金申請書、小論文

1. 一般的に留意してきたこと

- 1) 問題文をよく読み、出題者の意図を読み取り、書く前に頭を整理します。思いついたキーワードを書き出します。文章の構成を決めます。
- 2) 始めに結論、概要をもってきます。最後まで読まない「言いたいこと」が判らない文章（例えば起承転結）にしてはいけません³⁰⁾。話しの筋を通します。PREP法 {Point(結論)→Reason(理由)→Example(事例)→Point(結論を繰り返す)} 法を活用します。
- 3) 現実に則した文章にします。
- 4) できるだけ否定的、消極的な表現は避けます。
- 5) 「です、ます」または「である」調に統一します。ねじれ文章は厳禁です。
- 6) 誤字、脱字を正すため必ず読み返します。送り仮名に注意します。手書きでは汚い字、不揃いな字にならぬように注意します。訂正は二重取り消し線できれいに仕上げます。
- 7) 複文では読点を入れ、別の事柄（考え、経験等）に移るときは段落（Web エントリーの場合は■）を入れます。
- 8) 制限文字数を守ります。

その他の留意事項

- ・ ES、小論文の内容について面接の時に突っ込まれる可能性があるので、事前に留学生と話し合っておく。
- ・ 普段から、過去問について手書きで文章を書く練習をさせて、チューターが添削する。

2. エントリーシート

ES は企業によって異なります。大体下記についての記述を求められています。

- ・ 志望理由（選択した職種にした理由）
- ・ 就活の軸
- ・ 学生時代に一番力をいれたこと
- ・ 一番苦労したこと
- ・ 得意なこと
- ・ リーダーシップを発揮した経験
- ・ 異なる経験の人々と良い結果を出した経験
- ・ 将来の希望、チャレンジしたいこと

留学生には志望企業の理念の中で自分の強みを如何に活かせるかを考えてもらう必要があります。自己分析にはSWOT分析が使いやすいです。チューターは留学生との会話の中で「ひかるもの」を見つけ、

³⁰⁾ 就活ニューズペーパー by 朝日新聞. 2016/1/13

https://asahi.gakujo.ne.jp/common_sense/meister_nakahara/detail/id=1604

これを志望企業の中で位置づけることを考えて、文章化を支援すると良いでしょう。

最近、就活の軸を問う企業が増えています。面接で「価値観は何ですか」とは言い難いので「軸はなんですか」と質問し、就活生の人物像を知る一つの手掛かりにしているそうです⁽³¹⁾。経験を通して価値観を広げた経過と、その価値観に基づいた「最もやりたいこと」を説明できれば良いと思われます。

ES全体を通して主張が一貫していなければなりません。添削する場合には字句だけではなく、内容が志望企業にふさわしいか、論旨が一貫しているかを一緒に考えます。

ESの実例はwebで「就活 ES 例文」で検索すると見付かります。また、図書《キャリアデザインプロジェクト編著「合格実例集&セオリー2020 エントリーシート編」 PHP 研究所》、《杉村 太郎 著/熊谷 智宏「絶対内定 2021 エントリーシート・履歴書」、ダイヤモンド社》には実例が沢山紹介されています。

ここでは就活の軸、学生時代に一番力を入れたこと（ガクチカ）の実例を示しました。いずれも入社合格例です。ガクチカでは自己のアピールが大切です。最初の一行目に心を込めます⁽³²⁾。一行目で読み続けてもらえるか、否かが決まると言っても過言ではありません。そのため、一行目の記述には検討を重ね、時間をかける必要があります。

実例 1

問題：就活の軸は何ですか

答案例：

私の就活の軸は「社会に広く関わり、クライアントにとって欠かせない存在でありたい」ことです。理由は大学時代からボランティア活動に参加し、他人から頼りにされた時にやりがいを感じてきたからです。老人ホームで高齢者の世話をし、お年寄りの顔に笑顔が溢れた瞬間、やりがいを感じました。人々の問題を解決し、相手に信頼された時に喜びを感じます。これからの仕事でも、クライアントの問題を解決し、強い信頼関係を築いて、欠かせない存在として認められたいと考えています。

実例 2（固有名詞は仮です）

問題：自信をもって語ることでできる経験を述べてください。

答案例：

それはスペイン語教師としての成功体験です。私は教師をやるとき、生徒の勉強目的に合う授業を提供することで、生徒の満足度を最大化することに努力しました。私の生徒のほとんどは社会人で、勉強目的は様々です。そのような生徒が、長く勉強し続けるためには、勉強の目的に合う授業が必要だと考えました。なぜならば、勉強の目的を達成出来なければ、生徒が勉強をやめてしまう可能性が高いためです。そこで、私は生徒の勉強目的、勉強に取れる時間等を確認した上で、生徒と一緒に授業の進めみ方を決めました。また、教科書以外に、生徒が勉強したいテーマに合う資料を作りました。その結果、生徒の数が10名まで増え、生徒の中にはスペイン語検定試験に合格し、職場で喜ばれたという便りまで頂きました。これによって語学指導に自信を深めました。

実例 3（固有名詞は仮です）

答案例：

³¹ U22 就活 就職面接なぜかみ合わない 採用担当と学生本音トーク 「就活の軸」
<https://style.nikkei.com/article/DGXMZO52655570X21C19A1000000/> (2019)

³² 99%の普通の大学生でも「読ませる」エントリーシートは書ける,DIAMOND online, 2012/11/30
<https://diamond.jp/articles/-/28648?page=2>

販売競争で1位の賞状を頂きました。私が学生時代に一番頑張ったことは新製品の販売活動で、販売ランキングで全国1位になりました。この仕事についてのは日本語の上達と販売力を身につけるためでしたが、当初は接客や販売の仕方が分からないうえに、毎日がノルマ達成のプレッシャーとストレスとの戦いでした。私が諦めずに販売でトップを目指し、休日でも実習的に色々な店舗を回り商品知識の習得と接客観察することで、自分が足りない部分を改善していきました。また、言語力を活かし、日本語、英語など多くのお客様にも積極的に対応しました。その結果、先輩方のサポートもあり、入社わずか8ヶ月で全国販売ランキングに2回ランクインし、賞状と副賞を頂きました。この取り組みを通じて、私は何事でも諦めずに努力することの大切さをより一層実感し、仕事への熱意が深まりました。この経験を今後のキャリアに活かしていきたいと思っています。

3. 授業料免除、奨学金申請書

家族の支援、自助努力だけでは日本での留学生活で所望の成果を得られないことを訴えます。記述は具体的に書くと説得力が強まります。

奨学金申請の場合、奨学金財団の理念を読み、これに沿った申請理由を書きます。取り組んでいる研究の意義、社会に及ぼす好影響についても別項目で述べるようにします。下記はいずれも認めてもらえた例です。

授業料免除申請例（固有名詞は仮です）

私は2018年1月に来日以来、故郷のペルーで暮らしている両親と、日本の会社で正社員として勤めている兄の支援で学費を支払ってきました。また私自身もアルバイトで生活費を稼ぎながら留学生活を送ってきました。しかし、兄は今年の3月から会社を辞め、帰国して創業することを予定しており、今までの援助は望めなくなりました。また、故郷の経済レベルは高くない上、年金生活の親に入学料を含め、学費を全て負担してもらうのが困難な状態です。4月からの大学院留学は悔いのないものにしたいと強く望んでいます。教授や家族、学校の期待に応えられるような成果や実績を出すために、アルバイトを減らし、より多くの時間を勉学と研究に使いたいと思っています。以上の理由から入学料と授業料の免除・徴収猶予を申請いたします。

奨学金申請例（固有名詞は仮です）

- 1、研究テーマは、日中間の環境問題で、基礎のデータ整備も必要とするのですが、生活のため、勉強時間が削ってアルバイトをしている苦しい状況です。奨学金を頂ければアルバイトをしなくても済みます。
- 2、私たち夫婦は、共に学生なので、2人とも正規の仕事がなく、安定に生活を送れるほどの収入はありません。今まで留学経費を負担してくれた母親が病気で亡くなり、父親は退職して年金のみで生活を送っているため、仕送りもありません。それに、妻の学校は仙台にあるので、高額な交通費もかかっています。
- 3、今年になって、子供が生まれたので妻は働くことができません。そのため、収入が無くなる反面、養育費が増え、研究生生活を続けることがますます苦しくなっています。

4. 小論文

志望企業によっては、筆記試験で小論文がでます。志望企業はこれを通して志望者の問題意識、構想力、文章力、更には人柄とセンスを見ようとしています。従って、これらを意識して論文をまとめる必要があります。

論文には必ず結論があり、筋を通して結論に到達します。感想文、報告書、随筆にならないよう注意します。

テーマは主に1) 本人の過去または将来、2) 志望企業に関するもの、3) 時事問題です。

企業によっては、指定ワードを使って自由に作文してください、白紙に自由に自分を表現してください、新しい社名を考えてください、というユニークな出題もあります。

意外とニュースを知らない留学生が多いです。時事問題についても今何が問題になっているのか、レッスンの席で常に話し合うとよいと思います。そして、志望企業の過去問題を調べて出題傾向を知ってもらい、試験会場でスラスラ書けるように普段から書く練習をする必要があると思います。小論文の実例は web で「就活 小論文 例文」検索で見付かります。

小論文の構成

- 1) 序論として一般的なこと、常識、定義等、誰もが良く知っていることから書き出すのが普通です。
しかし、志望企業が出す小論文の場合には、最初に著者の主張、結論とその理由を簡潔に述べます。
査読者を続けて読む気にさせることが大切です。
- 2) 本論では従来の問題点、動機、背景、実体験を述べます。
- 3) 結論として、解決策、提案、成果を示します。

例1：

課題：入社後の抱負（キャリアプラン）を述べてください。

思いついたキーワード：会社の理念、社風、社員研修、OJT、先輩社員、同期社員、スキルアップ、社員教育、資格、MBA、建築士、技術士、自己研鑽、スペシャリスト（専門職）、ゼネラリスト（総合職）、経営リーダー（マネージャー）、グローバル人材、

結論：技術の判るゼネラリストになりたい。

参考答案例：

入社5年後には経営リーダーとスペシャリストと十分なコミュニケーションのとれるゼネラリストを目指します。はじめは社員研修を通じて社風と会社の経営理念の中で会社の組織の役割、仕事の流れ、新しい分野への取組を学習します。入社して3年間は現場の空気を知識として身につけるため、営業職として市場のニーズと客先対応、更に現場で実際に仕事を進めながら問題の在処と対応について学びたいです。

私は経営学部出身ですから技術には不案内です。そこで、技術のスペシャリストとのコミュニケーションだけでなく、技術も判るゼネラリストになることを望んでいます。上司と話し合いの上、自己研鑽で国家資格、例えば2級建築士の取得を目指します。そして、技術部門との深いコミュニケーションができるゼネラリストとして、経営企画部で市場分析、ビジネスモデルの検討、新ビジネス立案に従事して、経営リーダーの経営判断に役立つ仕事をしたいと望んでいます。(400字)

例2 指定ワードを使うもの

課題：「科学・工・挑戦・融・市・ヴァーチャル・月・億・ハート」のうち、3つ以上のワードを使って自由に文章を作成してください

参考答案例：

最近の科学は、地球から約3.8億メートル離れた月へのヴァーチャル旅行を可能にする勢いである。これを体験したときの感動は一般市民のハートに残るに違いない。一方、音楽もヴァーチャルであり、人々のハートに感動を与えてきた。将来、視覚および聴覚を通しての二つのヴァーチャルな世界から人々

のハートに何かが届くことになる。そこで両者が融け合えば、シナジー効果で画期的なイノベーションが生まれるだろう。(200字以内)

5. 最近の動き

AI (人工知能) 選考が急速に取り入れられています《「AI で採用選考 就職戦線異状あり」くらし解説-NHK, 2019/3》。AI 選考はソフトバンクが2017年に導入し、その後サッポロ HD、横浜銀行、日清食品 HD 等が採用しています。2019年の新卒採用では大企業の30%が実施または検討中です³³⁾。AI は ES だけでなく、面接にも使われています。AI 選考は、過去の合格者と不合格者のデータに応募者のデータを照合して、合格者との一致率が高ければ高得点を与えるものです。Web エントリーシートとともに AI 選考は一層広がると思われます。

ES で最初の一行が大切であると述べましたが、AI では ES が機械的に処理されるので、無駄な文章を省くこと、語彙の選択に注意を払うこと、視点の一貫性、ねじれ文章厳禁が益々重要になってくると思われます。企業側は ES 選考に AI を導入して作業時間を減らせますから、その分優れた人材の確保に時間をまわせます。面接、場合によってはグループディスカッションでの印象が重要になってくるのではないかと思います。

あとがき

この小文では第1部に文章添削、第2部にその応用例としての各種文章作成の留意点について述べました。

留学生の文章の添削は容易でなく、どれが誤用でどう直したら良いのか迷うことがあります。本稿では単純な書き誤り、句読点、カナかなひらがなの区別、副詞、助動詞については省略しており、また、動詞の文法上の誤りについては詳しく記述できませんでした。助詞についても文法的なことは述べていないので、参考文献をご覧ください。

留学生から文章を受け取ったら、ざっと読んでみて違和感のある動詞、助詞、接続詞、敬語等を常識に照らして添削するようにしています。場合によっては文章全体を書き直してしまうことがあり、意味がとれず添削を諦めることもあります。文脈に不適当な名詞、動詞が使われることが多く、留学生が文章を書くとき辞書等を活用しているのか疑問に感じることもあります。とくにコロケーションについては留学生がコーパス¹⁶⁾、Google を活用してくれば、もっと読みやすい文章に仕上がるのではないかと考えています。文章のねじれもたまにあります。これは大きなミスになります。留学生に主語と動詞の結びつきを意識して読み返すよう言い聞かせる必要があると思います。

教育的観点からすると、留学生の論文を添削するのは問題だと思います。最近、留学生の希望によっては訂正困難と思われる誤用を除いて、誤用部を黄色マーカーで示すに留めています。留学生が直したものを添削するので2度手間になります。以前は違和感の無い文章に仕上げるため、ほとんど書き直してしまいましたが、最近は最小限にしています。

第1部と第2部について RKK 日本語支援グループスタッフの皆さまに原稿のチェックをお願いし、有益な指摘を得ました。

³³⁾ 就活生が嫌がる「AI による採用」導入は進むか、東洋経済 ONLINE 2018/6/21、
<https://toyokeizai.net/articles/-/226065?page=4>

謝 辞

横浜国立大学国際教育センター 薄井廣美先生には原稿を査読して頂き、有益なご助言を頂きました。ここに記して心から謝意を表します。また、中国語については横浜国立大学大学院国際社会科学府 孫 宇濛さん、ベトナム語については横浜国立大学理工学部 チン ティ タオさんのご協力を得ました。ここで厚く御礼を申し上げます。また、第 2 部執筆に当たり、ES 等の文章の引用を快諾してくださった留学生 OB, OG に感謝します。

調査・執筆 RKK 広報委員 村田威雄